

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	
-----	-----------------	-----------	--

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市はちけん地区センター	所在地	西区八軒6条西2丁目
開設時期	平成18年4月1日	延床面積	1327.01㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール・集会室(3室)・図書室		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながる事となる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1 施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1 施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理業務	▼ 管理運営に係る基本方針の策定 「はちけん地区センター」の指定管理を最初に受けた平成18年度、その管理運営に向けて当時のスタッフで時間をかけた話し合いを行い、以下の7つの基本方針を掲げた。この方針は、スタッフ全員に受け継がれており、令和5年度もこの方針に基づいた運営を実施して来た。 ①子どもの成長を支え合う為に ②高齢者の力を地域に発揮する為に ③団塊の世代の力を地域づくりに活かす為に ④障がい・世代を超え開かれた場になるように ⑤地域の課題に応えるように ⑥地域の担い手の要請・ネットワークづくりになるように ⑦地域住民の学習を支え、共に学ぶ場に	▼「はちけん」の管理運営に関わる基本方針は、この7点に集約されている。スタッフの入れ替えの際にも確認、この原則に従って講座や事業を立案している。開館から19年が経過し③団塊の世代と②高齢者は同意語になりつつある為、近年は高齢者に係る事業に力を入れている。 ▼貸室業務については「使用承認取扱要領」を遵守する事で公平性は確保。管理者としては、その上で丁寧で親切な説明が不可欠との認識で対応している。 ▼貸室の抽選、講座の受付等の業務はルールに従って進めており、利用者からのクレームは無い。 ▼会話、飲食、席取り等の問題行為がないか、スタッフが適宜巡回して指導、希望者が気持ち良く使えるよう気を配っている。 ▼R6年度も、札幌市の「環境配慮評価基準」を満たす小売電気事業者である北海道電力㈱と契約を継続。 ▼ガスの使用量は前年度の92.6%で微減。電気の使用量は前年度の100.4%で微増だった。 ▼前年度再利用率68.86%から、74%に改善。	A B C D 要求水準が満たされており、適切に管理・運営されている。
	▼ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼貸室業務 ①「使用承認取扱要領」の遵守による運用を徹底 ②貸室のルールについて利用者に向けた繰り返しの説明 ③予約重複の場合、利用者による直接抽選を推奨 ④利用希望重複の場合、時間をずらす事で双方の希望が適えられないか等、スタッフが間に入って調整。 ▼区民講座・交流事業 受講や参加申込に不公平が生じないように、講座内容等を知らせる媒体の発行時期と申込受付日の関係を常に念頭に置いて企画。告知の方法もHPや館内ポスター・地区センターニュース・札幌市のイベント冊子・フリッパーなど、多くの媒体を使って情報に触れる機会に格差が生じない広報活動を実施。 ▼アトリウムのフリースペース 目的の違う人たちが共存できるよう、自習コーナー・バス待合スペース・飲食可の休憩スペースを提供している。階段下の自習コーナーは定員10人。テストや受験に向けてたくさんの学生たちが集まる他、社会人の利用も多数。 ▼ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼料金高騰が続く電気・ガスについては常に節約に努め、利用者の用途に応じて室温設定を訊ねながら、こまめなON・OFFを心がけた。また、施設内の不要な照明の消灯に努め、トイレの便座や温水の設定温度を季節によって変えるなど、できる限りの節電を心がけた。 ▼裏紙の活用やコピー機能の活用で紙の使用料削減に努力。図書業務日報は全ページ裏紙を利用し、掲示済みのポスターは集会室の室名札として再利用。コピー用紙・カラーペーパーは森林認証制度のFSCマーク・PEFCマークのものを使用。洗剤やアルコール等は、ボトル買いせずに詰め替え用を購入している。 ▼新聞・ダンボール・雑誌・雑紙・シュレッダー等の資源回収に努め、「事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書」を札幌市に提出。		

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼令和6年度の組織・人員配置

職種	配置部署	職務	形態	数
館長	事務室	事務・統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理	常勤	1
事務	事務室	事務・夜勤	非常勤	6
司書	図書室	図書	常勤	1
図書	図書室	図書	非常勤	3
清掃		清掃	非常勤	4

（令和7年3月末時点）

▼人材育成・各種研修への参加、内部研修

- ①4月 Wi-Fi機器の取り扱い研修（スタッフ会議）
- ②5月 第17回ワーカーズ運営施設図書会（図書スタッフ）
- ③7月 残業についての動画研修（館長・副館長）
- ④8月 救命救急研修（市主催研修 夜勤スタッフ1名）
- ⑤8月 中央図書館 職員スキルアップ研修（図書スタッフ2名）
- ⑥10月 中央図書館 職員スキルアップ研修（図書スタッフ2名）
- ⑦11月 救命講習－高齢者コース（館長）
- ⑧12月 救命講習－高齢者コース（図書司書）
- ⑨12月 ウェブアクセシビリティ（全員）
HP更新の際に意識すべき事の確認（スタッフ会議）
- ⑩12月 ワーカーズによるWEB研修－コンプライアンス（全員）
- ⑪2月 ワーカーズによるWEB研修－金銭管理（全員）
- ⑫2月 ワーカーズによるWEB研修－個人情報取扱（全員）
- ⑬2月 ちえりあ研修－実りある講座へ（事務スタッフ3名）
- ⑭3月 ワーカーズによるWEB研修－ハラスメント（全員）
- ⑮3月 ワックス剥離作業の手順確認・実施（清掃スタッフ）

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼様々な利用者対応に、職員間の認識のズレが起こらないようにするには、何よりも業務日報の活用が有効だ。シフト制で運営されている現場にとっては、日報を基にした情報共有・問題点への共通した対応が必要になる。同様に、夜勤スタッフへの引継ぎの役目も果たす「タレ」・月に1度の職員会議など様々な機会に職員間のコンセンサスを図っている。

▼協定書に添って館長・副館長・図書司書を各1名配置。

▼協定書に添って、事務室の昼・夜とも常時2名体制を維持。図書も常時2名で対応。

▼清掃は4名のスタッフが日常清掃を交代で担当、WAXなどの定期清掃は全員で仕様書に基づいて実施している。

▼年度当初、札幌市に提出した「スタッフ年間研修計画」に基づいて具体的に研修を選び、Web・会場・職員会議内など、いろいろな形態の研修に参加。環境についての勉強会ができなかったのが反省点。

▼それに加えてワーカーズコープが全国規模で実施するWEBによる研修に全員が参加して、感想文の形で本部に報告している。

▼月1回の職員会議で、研修参加者から内容の説明、資料ファイルを作製し研修内容をスタッフ間で共有できるように心がけている。

▼業務日報には、「AED使用可」のチェック欄に加え、駐車場利用台数の記入欄を設け、日に3回スタッフが状況確認の上台数を記入。

▼令和元年より、迷子やケガなど困りごとを抱えた高齢の来館者への対応に特化した「ノート」を作り、職員間で情報共有している。家族や施設・民生委員・第一包括など必要なところにつなぐことができています。

▼「西区コミュニティ施設館長会議」は西区内4館と地域振興課により毎月1回行われている。ワークス6館による「コミセン会議」も月1で行われている。どちらの会議も情報交換や報告・相談など、施設運営の上で大切な役割を負っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

【令和6年度の第三者委託業務】

- ①機械警備 ②自家用電気工作物保守点検
- ③エレベーター保守管理 ④自動ドア保守管理
- ⑤ボイラー設備保守管理 ⑥消防設備保守管理
- ⑦舞台装置吊り物保守管理 ⑧建築基準法定期点検
- ⑨高所窓ガラス清掃・図書室カーペット・屋上ドレイン清掃
- ⑩除排雪

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 (令和6年7/25)	令和5年度活動報告・令和6年度第1四半期活動報告・令和6年度第2四半期活動予定・その他=5年度運営協議会の開催日程・ティッシュ協力隊概要報告 (会場:はちけん地区センター会議室)
第2回 (令和6年10/24)	第2四半期活動報告・第3四半期活動予定・その他=令和5年度指定管理者評価報告 (会場:西区館長会議の場)
第3回 (令和7年 1/23)	第3四半期活動報告・第4四半期の活動予定説明・その他=令和7年7月からの利用料金改定について (西区館長会議の場)
第4回 (令和7年3/17)	第4四半期の活動報告・令和6年度利用者アンケートのまとめ報告・令和7年度の活動予定説明・その他=9月からの八軒会館休館に伴う協力依頼 (会場:はちけん地区センター会議室)

<協議会委員>

西区市民部地域振興課長

八軒連合町内会・八軒中央連合町内会会長

読み聞かせの会メンバー 植栽サークルの代表

八軒中央地区福祉のまち推進センター事務局長

八軒連合町内会民生・児童委員協議会会長

センター館長・センター副館長

▼「ノート」を作ること
で他団体との連携が
よりスムーズにとれる
ようになった。

▼2つの会議への定期参加で、区内は勿論、他区施設の動向を知る事ができ参考となっている。

▼外注先の選定は市内業者数社から相見積を取り決定。札幌市に第三者委託の申請を行い、承認を受けている。

▼仕様書に定められた作業内容・回数を遵守し、報告書類も適切に管理。

▼地域や利用者の施設に対する要望を探り、お互いに協力できる関係を築き上げるための場とすると同時に、施設の活動のPRや相談の場としても活用している。

▼第2・3回の資料は各委員に後日配布。

▼前年度途中で亡くなられた方の枠が欠員となっていたが、6年度から新たに植栽サークルの代表者にメンバーをお願いして委員の数は9名に戻った。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

・指定管理業務に関する収支については独立した帳簿・預金口座を作り管理。
・現金・有価証券・領収書等の管理は、定められた規定に則って管理を行なっている。
・利用料金・講座受講料等の収入は翌日に専用の銀行口座に入金、またこれら収入は月毎の全額を翌月始めに所属組織の本部口座に送金しており、事務所内には必要最低限の現金だけを置く体制で運営している。
・現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備して各帳簿の表紙の裏に貼り、常に確認できるようにしている。

▽ 要望・苦情対応

・利用者アンケートで出された要望について可能なモノは即対応(利用者アンケートの項目に記載)
・札幌市や西区に届いた苦情があった場合、原因の究明と今後の対応・返答に到るまで、正確に誠実に迅速に向き合う姿勢で対処してきた。
・利用者の要望を日常的に聞くため、「利用者の声」回収箱を設置している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

・日常業務では事務室・図書室とも日報を記載、夜勤者との引継ぎは、日報を元に情報を共有、問題点への対応を考える場を持っている。
・事務(夜勤を含む)、図書、清掃が職種毎に月1回の話し合いを行ない、これとは別に全スタッフによる会議を月1回持つ事で、シフト勤務職場にありがちな情報格差の解消に努めている。
・実施する講座はすべて参加者アンケートを実施。理解度・満足度を測る他に、次に役立つ要望や意見を収集している。
・西区による実地検査に対応
・12月にR6年度の利用者アンケートを実施(配布=900部。回収=644部)
・札幌市への事業報告は、毎月の月報と、年に1度の年報で行っている。その他に、札幌市からの問い合わせには適宜対応している。

▼経理・財務担当者は毎月開かれる所属組織の経理担当者会議に参加、相互に伝票等のチェックを行い、処理方法を統一している。

▼利用料金入金分金種表一覧は、日に2回作成し、それぞれダブルチェックを行っている。

▼利用者アンケートの結果は後述。

▼11月、自習コーナー利用者と保護者から寄せられた事案については、地域振興課に相談の上対応。八軒交番巡査部長から防犯対策のアドバイスを受け、見回りの強化をお願いした。

▼西区による実地検査—12/23。「スタッフ研修計画」が未提出だった為後日提出。実施報告は、年度終了後に提出。

▼アンケート結果は、冊子にしてアトリウムに1か月間設置。来館者が手に取って読んでもらえるような工夫をした。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上		A	B	C	D
	▼労働関係法については遵守し、必要な届けを札幌中央労働基準監督署に提出。 ▼賃金改定①令和6年4/1からは副館長と図書司書に賃金スライド手当を各3,000円／月支給②10/1最低賃金改定に伴い、非常勤スタッフの基本時給を1,010円に改定。その他「3年以上勤務で＋15円の経験手当で」「司書資格者には更に＋10円の司書資格手当」を支給。 ▼全職員の有給休暇取得状況を可視化し、取得の進む環境にしている。年10日以上有給付与されている職員については、年5日以上取得義務を遵守。また、常勤者は7～10月にリフレッシュ休暇3日間を取得することができる。 ▼6年度中、施設で働くスタッフの時間外労働、休日労働、深夜労働は無し。 ▼施設で働くスタッフは、1週40時間、1日8時間を順守した。 ▼全てのスタッフを労災保険に、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ▼スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて厚生年金保険、健康保険に適切に加入させた。また、変更があった場合は必要に応じて適切に届出を行なった。 ▼新しいスタッフの雇入れ時には健康診断を実施している。(6年度については新たな採用は無かった。) ▼スタッフ全員に年に1度健康診断を受けてもらい結果を把握。再検査や生活習慣病などの診断があった場合は、産業医から適切な指示等を受けている。 ▼労働基準監督署からの行政指導は受けなかった。 ▼指定管理者の申込時に提出したワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ▼所属組織である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団が定めた規定に則り、就業規則を作成している。育児介護休業規定・パワハラ防止・セクハラ防止・個人情報保護規定等、適宜更新された内容で運用されている。	▼「36協定届」令和6年4月1日から1年間分提出 ▼賃金改定の都度、就業規則の変更届を提出。 ▼有給休暇取得数・残数は、一人ひとりの有給一覧表を作成し、給与明細にも明記、取りやすい環境を整えている。 ▼社会保険加入者の協会けんぽ健康診断の費用は事業所が負担。 ▼パートスタッフの特定検診には1,500円を上限に補助。 ▼インフルエンザと新型コロナウイルスのワクチン接種者には、上限1,500円の補助を行っている。	労働関係法令が遵守されており、また、雇用環境の維持向上にも努めている。			

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D			
			要求水準が満たされており、適切な施設・設備等の維持管理業務が行われている。地域ボランティアサークルとの連携も行われている。			
	▼施設、敷地内は事務・清掃スタッフが日常的に目を配り、利用者の安全を脅かす状況がないかをチェック。 ▼スタッフの連絡網については、人の入れ替わりや、転居、携帯の変更等があった場合には速やかに更新している。(令和6年度についてはスタッフの入れ替わりは無し) ▼外注業者の他、水漏れ対応、鍵対応などの緊急連絡先をリストアップして事務室内に用意。シフト勤務で緊急事態に当たったスタッフが誰でも対応をとれるようにしている。 ▼加入保険 ①ワークスコープ本体が「賠償責任保険」(人的補償・一人につき1億円、一事故につき4億円をカバー)に加入している。R5年度から追加した指定管理者及び札幌市を被保険者にした交差責任担保特約、及び現金の取扱いに関わるいわゆる「マネー保険」の上乗も継続。 ②更に施設が主催する事業の参加者の事故に対応する「レクリエーション保険」に加入。 ③施設の活動に参加してくれるボランティアの方については社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入。	▼6年度、賠償責任保険を使う事例は無し。 ▼「レクリエーション保険」には必要に応じて講座やイベントの参加者を登録。 ▼開館後20年近く経過し以前依頼した業者の中には廃業の例もある。その場合は、新築時のゼネコン中井聖建設に相談しながら対応している。 ▼「ボランティア活動保険」には、おはなし会の読みきかせサークル・花壇整備のサークルや、清掃ボランティア・地域ボランティアの方々を登録。				
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼機械警備・電気設備・自動扉・エレベーター・消防設備・舞台吊り物・ボイラー・の保守点検および、高所窓ガラス清掃、図書室カーペット清掃、屋上ドレイン清掃、除排雪、建築物定期点検は第三者委託。	▼各業務とも、仕様書に基づき必要な回数を実施、報告書も適切に管理している。				

▼他施設の場合、清掃業務を外注するケースが多いが、当館は4名のスタッフが日常清掃を交代で行っている。WAXなどの定期清掃は、全員で仕様書に基づき実施している。 ▼施設の設備・備品管理、駐車場管理はスタッフ全員が関わって実施。 ▼敷地内の植栽管理は基本的にスタッフが担当。高い樹木の剪定は2～3年に1度専門の業者に依頼する。花壇整備についてはスタッフと地域の愛好家が立ち上げたグリーンボランティアサークル「花コパン」が協力して花壇作りを行なっている。 ▼1階・階段下の「自習コーナー」側の窓(外側)への植栽による「緑のカーテン」(日除け効果)を引き続き実施。例年、札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課に申請して送ってもらった種をプランターに蒔くところから行っている。	▼5/15、「花コパン」メンバーとのコラボ企画で、地域住民対象の交流事業「地域のみんなで花壇整備」を実施。他に、刈り取ったラベンダーを来館者にプレゼントする企画も継続。地域住民に喜ばれる花壇作りが続いている。 ▼令和6年度はつるありインゲン・シカクマメの種を提供してもらった。その他にアサガオも植えた。
▽ 防災 ▼6年度に参加・実施した防災関係活動 ・7/22 スタッフによる消防訓練 (5名参加) ・1/22スタッフによる消防訓練 (4名参加) ・施設の自主点検(建物の傷み具合や避難経路点検)は毎月中旬に実施 ・札幌市防災協会主催「救命救急講習」に参加 名参加②11/28・1名参加③12/16・1名参加 ・毎月中旬に建物関係の定期自主検査を実施	▼自衛消防訓練は、業者による消防設備点検に合わせて年2回行い、札幌市西消防署に報告書を提出。 ▼札幌市防災協会主催の救命講習は、毎年交代で参加している。

(4)事業の計画・実施業務

▽区民講座に関する学習機会の提供

	6年度計画	6年度実績
講座数	16	16
回数	16	24
受講生数	260	180

講 座 名			
定員	受講者数	成果指標	達成率
①大人のレジン教室			
15	12	受講生の満足度	125%
②自己ベストをめざそう かけっこ教室			
20	20	受講生の満足度	125%
③おもしろ電波教室			
16	17	受講生の満足度	125%
④HIDEMI先生とピラティスをしましょう！			
20	20	受講生の満足度	122%
⑤NISAって？投資信託ってナニ？			
20	15	受講生の満足度	113%
⑥パレトンしませんか？			
10	7	受講生の満足度	80%
⑦ベリーダンスしてみませんか？			
10	5	受講生の満足度	125%
⑧多肉植物の寄せ植え講座			
10	9	受講生の満足度	125%
⑨包丁研ぎ教室			
10	10	受講生の参加者数	125%
⑩ピラティス講座			
10	8	受講生の満足度	117%
⑪親子食育料理教室 おさかなを美味しく食べよう！			
8	8	受講生の満足度	121%
⑫ホームベーカリーで作るお手軽肉まん			
8	9	受講生の満足度	125%
⑬もちもちおやき信州風			
8	9	受講生の満足度	125%
⑭ぬいぐるみのおとまり会			
6	6	受講生の満足度	125%
⑮冬休みこども将棋教室			
12	14	受講生の満足度	117%
⑯春に向けて カラダ軽やかイス体操			
20	12	受講生の満足度	125%

▼「区民講座」はほぼ計画に沿って実施。6年度の新企画は③⑤⑯の3つ。

▼内容の系統別では文化系ー10、運動系ー6、また受講対象別では成人ー10、子供ー5、親子ー1となりバランスのとれた実施状況。

▼「おもしろ電波教室」は電波適正利用推進員の協力を得た初企画

▼北洋銀行八軒支店の担当者を講師に迎えた金融講座

▼「パレトン」「ベリーダンス」「ピラティス」は、いずれも受講生の満足度の高い運動系講座。

▼「包丁研ぎ」リサイクルプラザ宮の沢」との共同企画

▼「料理教室」西区食生活改善推進協議会との共同企画。無料でもあり人気を集めている。

▼「もちもちおやき」「肉まん」スタッフが講師と助手を務める人気のオリジナル講座。

▼「イス体操」は初企画、同時期の無料企画と重なった為、参加者数は物足りなかったが、内容は非常に好評だった。

A	B	C	D
区民講座について、当初計画よりも多い回数を実施しており、どの講座も高い満足度を得ている。多種多様な施設活用事業も行っており、評価できる。			

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	6年度計画	6年度実績
事業数	6	6
回数	20	20

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
みんなのひろば「春SONG」3/22-4/29			
200	426	参加目標の80%	236.7
みんなのひろば「鯉のぼりを飾ろう」4/21-5/5			
200	217	参加目標の80%	135.6
みんなのひろば「七夕に短冊」7/16-8/10			
200	413	参加目標の80%	258.1
みんなのひろば「読書の本」9/27-10/18			
200	226	参加目標の80%	141.3
みんなのひろば「クリスマス飾り」11/23-12/27			
250	314	参加目標の80%	157.0

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
「サロン・ド・ハッチ・うたの会」毎月第二金曜			
600	653	来場目標の80%	120.0

事業名 「地域のみんなで花壇整備」5/15			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
10	12	参加者数	120.0

事業名 「はちけん春のはあとフェスタ」4/29			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
400	500	来場目標の80%	156.3

事業名 「はちけん健康フェスタ」11/3			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
200	300	来場目標の80%	150.0

※静和記念病院の協力を得て3回目の開催。

▼交流事業は年度計画に基づいた実施状況となっている。

▼「みんなのひろば」はアトリウムを使った来館者参加型の企画。季節に応じて施設側が工夫を凝らした掲示ボードを用意し、参加者が自分達の願い事などを紙に書いて貼り付け作品が完成する。子どもだけでなく、大人も大勢参加。アトリウムが華やかに賑わい、見る楽しみもある参加型の交流事業だ。

▼6年度は年12回開催できた。一部の参加者から「開催時間をもっと長く」との要望もあったが、ほとんどの参加者は1時間の開催に満足している。

▼サークル「花コパン」が種から育てた苗を地域住民を募り敷地内の花壇に移植。

▼5年ぶりに春のフェスタを開催。フリーマーケットをメインに、多くの地域住民で賑わった。

▼各種健康測定や、看護師・栄養士・理学療法士による相談コーナーの他に、ワークショップやパフォーマンスを行った。

事業名「はちけん・ティッシュ協力隊!!」通年開催
箱ティッシュ118箱・ウェットティッシュ109・マスク40箱
生理用品21パック・その他歯磨きチューブ・タオル等
※5月・7/12・11/21の3回、集まった協力品を渡した。
※毎日バス待ちで来館する高齢男性から現金千円を預り、NPO法人イナナクルに渡したこともあった。

▽ 施設活用事業(無料)に関する業務

	6年度計画	6年度実績
種目数	7	13
実施枠数	88	85
総時間数	210h + α	217h + α
参加者数		1,444 + α

リフレッシュ運動教室(4~7月第月曜 計12回)	
参加者総数	277名
総時間数	24

※「介護予防センター八軒」との共催。地域の高齢者向けの運動教室。開催7年目。

親子限定活用	
参加者総数	227名
総時間数	36

※第2日曜 9時~12時。親子限定で広いホールを提供。

親子・子ども活用	
参加者総数	96名
総時間数	42

※第2日曜 13時~16時半。親子や小・中学生の子ども達に自由に遊べる広い空間(ホール)を提供。

卓球活用	
参加者総数	196名
総時間数	72

※第3金曜13時~16時半ホール全面・第4月曜18時~20時半ホール半面で実施。

バドミントン活用	
参加者総数	48名
総時間数	30

※第4月曜18時~20時半ホール半面で実施

▼NPO法人イナナクルが行う長期入院の子どもと付添い家族を支える活動を支援する目的で前年度にスタート。アトリウムに回収箱を設置して来館者の協力を頂いている。

▼参加者数については展示企画を含む為「+ α 」としてある。

▼初回と最終回の測定で、多くの参加者の運動機能と骨密度のアップが確認されている。前年までは春と秋の2クール実施したが6年度はホールの暑さを考慮して春のみの開催とした。

▼ホールを使った活用事業、コロナ禍での縛りもなくなり、6年度は通年でフルに実施。仲の良い家族同士が誘い合って集まることが多い。

▼「親子・子ども活用」は参加者に年齢差が生じる為、固いボールの使用を禁止する等の配慮をしながら実施している。

▼前年度に比べた参加者数の比較では「親子限定」が52.3%増と最大の伸び。

▼「卓球」の参加者数が前年度比31.5%増だったのに対し「バドミントン」は25.0%減。

おはなし会(毎月第三土曜開催・年12回)	
参加者総数	261名
総時間数	6

※「第3土曜・10時半～・A室+アトリウム」での開催スタイルが定着し、毎回20～30人の人が訪れてくれている。

八軒小2年生施設見学	
参加者総数	74名
開催期間	6/12 45分

琴似中央小2年生「まちたんけん」	
参加者総数	61名
開催期間	6/1 1時間

八軒北小2年生「えがおのひみつ 探検隊」	
参加者総数	59名
開催期間	9/20 1時間

※地区センターを利用する人、地区センターで働く人の「えがおのひみつ」を見つけることが、学習のねらい。

図書室の折り紙作品展示	
参加者総数	59名
開催期間	8/18～9/17

はちけん夢あかり ちょうちん作り	
参加者総数	85名
開催期間	7/20 3時間

※7/27開催の「八軒中央納涼まつり」に飾る提灯の製作場所として提供。主催の八軒中央地区青少年育成委員会の活動を応援。

八軒中学校7組施設見学	
開催期間	5/10

※八軒中学校特別支援学級「7組」の1～3年生18名が引卒の先生4名と来館、公共施設の役割を学んだ。

西区食生活改善推進員 活動パネル展示	
開催期間	5/2～5/23

※西区食生活改善推進員養成講座の参加者募集を応援する企画として開催。4回目の実施。

▼おはなし会はサークル「おはなしぐるーぷ・ハッチ」が18年続けている地域に定着した人気企画。

▼子ども達に貸室の説明をする際、ホールや集会室を利用中の方々に事前の了解を得て、各サークルの活動を見学・体験する協力をいただいた。

▼小学生による施設見学は、地域の公共施設の存在についてよく知って貰う為、質問時間等多めに確保して説明に努めた。

▼図書スタッフが図書室内でテーマに応じた折り紙作品を展示していたのが、好評を博し、独立した企画として実施した。

▼琴似中央小、八軒北小の児童に加え八軒中美術工芸部の生徒や大人が集まり、熱心に手作り提灯を作成した。

▼今年度の募集では西区全体で16名の応募があったとの報告を受けている。

▽ 図書業務

・利用状況【貸出冊数・レファレンス件数】

	5年度	6年度	増減
貸出冊数	100,225	93,653	-6,572
レファレンス件数	3,036	3,100	+64

・図書スタッフの外部研修参加

- ①中央図書館職員スキルアップ研修「毎日にひらめきをプラス」—司書1名が参加
- ②中央図書館職員スキルアップ研修「多様な利用者に配慮したデザインとは？」—WEB研修

▼貸出冊数は前年比-6.6%

▼WEB研修には図書スタッフ全員が参加。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績
ホール	件数(件)	1,166	1,809	1,244
	人数(人)	21,406		22,559
	利用率(%)	88.8		95.0
集会室A	件数(件)	909	650	911
	人数(人)	5,072		5,054
	利用率(%)	79.4		80.5
集会室B	件数(件)	892	642	839
	人数(人)	4,254		4,577
	利用率(%)	78.1		75.4
集会室C	件数(件)	1,006	1,092	924
	人数(人)	4,209		4,284
	利用率(%)	82.8		78.6

▽ 不承認 0件、取消し 0件、減免 0件、還付 0件

▽ 利用促進の取組

・集会室が3部屋と少ないため、利用希望が重なる場合が多い。他の部屋が空いている場合は、そちらへの振り替えを依頼する他、キャンセルの申し出があった場合は「変更措置」を勧める等して利用件数を確保するように努めている。

・申し込みの際使用目的を聞いて各室の特長(A室:ランケープル使用可・B室:調理可能・C室:簡易防音)を説明し、時には利用する部屋を他団体と調整することもある。

・「市内地区センターの中で部屋数が最少」という条件下で需要が高まる「時間貸し」に対応し、要望があれば空き時間を設ける事なく利用して貰っている。

▼貸室全体の利用件数は前年比55件の減、その中でホールは78件の増となった。

▼全体の利用率は82.4%で前年度の82.3%から増。部屋別ではホールと集会室Aが前年比でプラスを記録したが、特にホールの利用率では95%を達成した。

▼C室希望の音楽サークルが重複した場合、予約状況や音量を考慮しながらA、B室の利用を促す等、極力断らない努力を重ねている。

▼部屋の入替えをスムーズに行なう為、事前に利用者への説明と協力依頼を丁寧に行い、スタッフが手際よく対応することで、利用者からの不満は出されていない。

A	B	C	D
非常に高い利用率を維持している。特にホールに関しては95%の利用率を達成している。			

▽時間貸し・昼食時間帯・夕食時間帯の利用状況

	時間貸し		昼食	夕食
	件数	時間数	件数	件数
R4年度	874	1,559	182	120
R5年度	928	1508	272	194
R6年度	902	1620	153	237

▼「時間貸し」「昼食時間帯」の件数は初めて前年度比で減となったが、令和7年度7月の利用料改定によって、この動きがどうなるか注目している。

▽HPからの貸室利用申込状況

	4年度	5年度	6年度	前年比
申込件数	374	376	408	+32

▼HP経由の申込は着実に増加、最近では中高年サークルにも拡大している。

▽キャンセル件数とそれに伴う入金額

		4年度	5年度	6年度
ホール(全)	件数	2	21	12
	金額	10,350	143,060	64,170
ホール(半)	件数	2	1	12
	金額	7,800	2,150	27,545
集会室A	件数	2	6	7
	金額	1,550	2,370	3,440
集会室B	件数	16	39	20
	金額	4,095	16,115	5,120
A+B	件数	4	4	8
	金額	2,400	2,180	6,300
集会室C	件数	6	10	16
	金額	3,880	5,500	9,500
計	件数	32	81	75
	金額	30,075	171,375	116,075

▼令和6年度の利用料収入全体に占めるキャンセル関係分の割合は1.2%。集会室Bの件数が高い傾向が続いているが、これはこの部屋を毎週利用する特定サークルのキャンセル頻度が高い為。キャンセル処理は双方の負担となるため、その都度確実な日程での申し込みをお願いしている。

(6)付随業務	▽ 広報業務 ▼「はちけん地区センターニュース」 ①八軒の二つの連合町内会 の協力を得て、地域の11,586世帯に回覧②センターニュースは毎号拡大版を作り館内にも掲示。 ▼イベント冊子「札幌市からのお知らせー西区版」 西区地域振興課や広聴係の協力を得て講座・交流事業等を広報。 同じ内容を、地デジ・アプリを使って広報 ▼地域新聞「ふりっぱー」 イベント冊子と同じ内容を、西区のイベント情報として、「札幌西区・手稲区版」に掲載。 ▼道新コミュニティ紙への紹介記事掲載 例年、地元新聞店のミニコミ誌「minico」等にイベントや講座・「はちけんみんなのひろば」等の取材を受けて掲載されている。 ▼HP、ウェブアクセシビリティの取り組み 毎年1回、ウェブアクセシビリティ方針に基づきJIS検査の実施と評価結果をHP上に公開している。HP更新作業に携わるスタッフの作業能力も徐々に向上し、順調な運用が続いているが、これからも知識とスキルのアップデートを怠らず、点検を忘れずに続けて行きたい。 ▽ 引継ぎ業務 ▼引継ぎ業務は無し。	▼R6年度はN0.240からNo.253までの14回発行。地域住民への周知効果は引き続き高い。 ▼講座を知るきっかけとして、若い年齢層では「ふりっぱー」を挙げる人が多い。 ▼R6年度は、2回のフェスタの他、「はちけん」の特集記事が掲載された。 ▼取組ポイント数は30点満点中26点を獲得（R5年度は24点）。1月の職員会議の際、「ホームページ更新時に意識すべきポイント」について、研修を行った。	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ホームページ、地区センターニュースなど複数の媒体により適切な広報活動が行われている。	A	B	C	D				
A	B	C	D								

2 自主事業その他			<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 市内企業の活用に取り組んでいるとともに、福祉施策の取組みも行っている。	A	B	C	D				
A	B	C	D								
▽ 自主事業 ▼R6年度、自主事業は行っていない。	▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼市内企業の活用 外注の10業務中、9業務は市内企業に委託。 ▼福祉施策への配慮 ・有償ボランティアとして7年目になるAさんには引き続き週1回の定期清掃業務・外回り整備等の他に、冬季に10cm以上の積雪があった日には外回りや屋上の除雪を依頼。更には定期清掃のWAX掛け作業でも力を借っている。 ・フェスタ等の交流事業の際には、福祉作業所等の製品販売を行って販路拡大に協力している。作業所ごとに販売するものが違うので、イベントの参加者もパンや焼き菓子の購入を楽しみに来てくれている。	▼吊り物点検は恵庭の企業と契約。この業者は市内の舞台関係の殆どを受注している。 ▼Aさんは冬の屋上除雪作業においても重要な戦力となっている。 ▼4/29春フェス、11月の健康フェスタでは、それぞれ5つの福祉作業所等が参加。									

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

▼実施期間:12/1～12/28

▼配布数:900(窓口500・図書400)

▼回収数:644(窓口425・図書219)

結果概要

▼利用者の性別

	貸室	図書室	計	比率(%)
男性	78	84	162	25.2
女性	334	131	465	72.2
無回答	13	4	17	2.6
計	425	219	644	100.0

▼利用者の年代

	貸室	図書室	計	比率(%)
～20代	57	10	67	10.4
30代	23	24	47	7.3
40代	53	31	84	13.0
50代	55	35	90	14.0
60代	62	45	107	16.6
70代	113	53	166	25.8
80代～	57	21	78	12.1
無回答	5	0	5	0.8
計	425	219	644	100

▼利用者の居住地域

地域	貸室	図書室	計	比率(%)
八軒	191	173	364	56.5
西区内	100	18	118	18.3
他区	116	27	143	22.2
市外	7	0	7	1.1
無回答	11	1	12	1.9
計	425	219	644	100

▼利用頻度

	貸室	図書室	計	比率(%)
週に数回	111	28	139	21.6
月に数回	225	161	386	59.9
年に数回	67	21	88	13.7
初めて	9	8	17	2.6
無回答	13	1	14	2.2
計	425	219	644	100

▼回収率は71.5%で前年度の71.0%から微増。一昨年度から実施時期を2月から12月に変更した事が効果を上げている。

▼利用者の性別比率女性が7割を占める傾向は変わらないが、図書室利用では男女、6対4の割合となっており新たな傾向か。

▼50～70代の利用者が6割を占める傾向が続いて来たが、今回はこれが55%と減る一方で40代以下の層が増えている。また、アトリウム内のフリースペースである「自習コーナー」の利用の中心は学生だが、利用者の実数には反映され難い為「利用者の若返り」が感じられる。

▼居住地域では「八軒」が前年の59.9%から減少、その一方で「西区内」が前年の12.6%から増加を見せた。

▼利用頻度では「年に数回」が前年の9.3%から13.7%に増えた。実際、日々の利用の中で札幌市以外の方が年に1回の利用に「はちけん」を使用したり、初の利用に「はちけん」を名指ししてくるケースがある。理由を尋ねると「以前使った知人から推薦された」と言う事もあった。(例えば、コスプレ大会での利用)日頃の対応が少しずつ実を結んでいると感じる。

A	B	C	D
各項目で利用者より、要求水準を超える高い評価を得ている。			

	▼スタッフの言葉づかい・態度				
		貸室	図書室	計	比率(%)
	とても良い	281	186	467	72.5
	良い	115	30	145	22.5
	普通	26	3	29	4.5
	悪い	0	0	0	0
	とても悪い	0	0	0	0
	無回答	3	0	3	0.5
	計	425	219	644	100
	▼再度の利用希望				
		貸室	図書室	計	比率(%)
	ぜひ利用したい	296	175	471	73.2
	利用したい	107	43	150	23.3
	どちらかと言えば 利用したい	10	1	11	1.7
	どちらでもない	6	0	6	0.9
	利用したくない	0	0	0	0
	無回答	6	0	6	0.9
	計	425	219	644	100.0
	▼アンケートの自由記載欄から(要約・抜粋)				
	【貸室利用・フリースペース等】				
利用者からの意見・要望とその対応	・いつもキレイで過ごしやすい				
	・立地が良い。バス停が目の前で、特に冬は有難い。				
	・スタッフが皆気持ちの良い対応をしてくれる。				
	・ホールの利用料が高過ぎ。予約が面倒。				
	・自習スペースがいつも一杯、もう少し増えると良い。				
	・ホールの親子開放は良い企画、有難うございます。				
	・「はちけん」オリジナルの講座の内容がとても良い。				
	・この八軒にある施設として重宝している。				
	・暖房が時々止まるのが寒い。				
	・卓球の回数を多く希望。				
	・防音設備の部屋があるのが嬉しい。				
	・利用料が安くなると嬉しい。				
	【図書室】				
	・スタッフの皆さんが親切で感じが良い。清潔。				
	・感じが良いので他の所で借りようと思いません。				
	・時に応じた本の展示に工夫があり良いと思う。				
	・小2の娘は「本を借りるならココ！」と決めている。				
	・いつも有難うございます。大好きな場所です。				
	・返却Box、本の落下距離が高いので本が可哀そう。				
	・シリーズもので全巻揃っているものが少ない。				
	・蔵書を増やして欲しい。				
	・図書室にない本の順番が少しかかりますね。				
	・「おはなし会」に参加できる日を楽しみにしている。				
	▼「とても良い・良い」の評価の合計は96.0%と非常に高い。この高評価は「はちけん」の大きな財産であり、運営を担うスタッフにとってモチベーションとなっている、『再度の利用希望』に対しての回答で「ぜひ利用したい」「利用したい」の合計が96.5%という好結果も嬉しい。				
	▼利用者アンケートの結果については、運営協議会の資料として添付の他、冊子にして1か月間館内で閲覧できるようにして、報告を行った。				
	▼アンケートでは「1階事務室向け」「2階図書室向け」の各々に自由記載欄を設け、定型の設問以外の意見・質問・要望を書いて貰っている。				
	▼施設活用事業の回数については、有料利用につぶされることのないように、毎月1回ずつ固定して開催している。そのことを理解してもらうような努力を続けていきたい。				
	▼図書室に対する要望は理解出来る内容が多いが、市の図書システムへの理解不足から出される内容もあり、「はちけん」個別に対応するのが難しい。例年と同様に中央図書館に伝える一方、図書スタッフがその都度丁寧に現状を伝えて理解を求めている。				

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	36,862	38,220	1,358
指定管理業務収入	36,862	38,220	1,358
指定管理費	27,742	27,742	0
利用料金	8,800	9,400	600
その他	320	1,078	758
自主事業収入	0	0	0
支出	36,862	38,220	1,358
指定管理業務支出	36,862	38,220	1,358
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	0	0	0
自主事業による利益還元			0
法人税等			0
純利益	0	0	0

【参考】	R6年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	95	下記のとおり

▼その他の収入内訳
講座収入・コピーサービス・古紙回収の他、光熱費高騰による指定管理費見直し分として801,636円の補填を受けた。

▼利用料金収入は過去最高。光熱費の高騰については札幌市からの補填により赤字決算には至らずに済んだ。

▼法人税は、支出項目「法人経費」に含んでいる。

A B C D
過去最高の利用料金収入を達成し、計画よりも収入が増加している。また、利益還元を実施している。

▽ 説明

- ・「読み聞かせ」と「花壇整備」のボランティアサークルへの助成金
- ・ホール吊り扉修理・1F 女子トイレ蛇口修理
- ・カセットコンロ2台購入

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼ワーカースコープは全国組織であり、単体で赤字の出る事業所があれば全体でカバーする方式。この為組織全体の経営能力は安定している。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼地区センターの管理運営に関する各種条例については、常にそれらを遵守する姿勢で臨んでいる。

▼「暴力団排除推進条例」については、聞きなれない団体等の問い合わせや申し込みの際に、詳しく利用内容を聞いたりインターネット検索をするなど、出来る限りの情報収集に努め、暴力団の排除に積極的に取り組む。条例にのっとり「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」に従って必要な対応を行い、札幌市に相談・指示に従う事とする。

▼札幌市に対し個人情報取扱状況報告書を毎月提出。メールの誤送信や詐欺メールへの対応、USBを使用しないなど、知識のなさやうっかりで危険を招かないよう、札幌市からの研修資料を冊子にしていつでも確認できるようにしている。また、利用団体登録書等、個人情報の書かれたファイルは夜勤スタッフが閉館時に事務室内のロッカーに収納し施錠している。

適 不適

適 不適

▼「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」は冊子にして備え、何かあった場合はすぐに読むことが出来るようにしている。

▼2月には、ワーカースコープの「コンプライアンス研修」より、「個人情報の大切さ」を全員がWEBで受講した。

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
▼更新2年目のR6年度は、新型コロナウイルス感染症による制限も年度当初から無く、4月には5年ぶりの「春のはあとフェスタ」を開催してフリーマーケットも復活、500人の地域住民で賑わった。講座や交流事業については計画通りの実績を上げることができ、施設活用事業においては「リフレッシュ運動教室」「おはなし会」やいわゆる無料開放の他に小中学校の施設見学に対応した事業が増えたことで計画を上回る実績になった。一方で、経年劣化が進む施設と備品のメンテナンスや更新についての提案が増えた年でもあった。 ▼利用料収入＝R6年度も過去最高の利用料収入を上げることができた。個人・家族・仲間など大きくない単位での申し込みが増え続けている。ホール半面や簡易防音のC室を時間貸しでの利用が多い。その他に、ロコミや1度使って良かったので…などの理由で申し込んでくれる「コスプレ大会」の若者達も、ありがたい利用者だ。 ▼講座・交流事業＝スタッフが講師を務める講座や、繰り返し開催している人気の講座の他に、総務省のボランティア組織「北海道電波適正利用推進協議会」の協力を得て小学生対象の「おもしろ電波教室」を初めて開催することができた。春のフェスタの再開でフェスタは年2回開催に戻り、再開2年目の「うたの会」には八軒交番のお巡りさんが参加してくれるようになって、交流事業も充実した1年だった。 ▼施設活用事業＝R6年度も、定番になった「リフレッシュ運動教室」や「おはなし会」、毎月1回ずつに固定した「いわゆる無料開放」の他にも、形にとらわれずに多様な形で他団体や学校に「場の提供」をしてきた。特に小中学校の施設見学については、あらかじめ先生と打合せを行い、子どもたちからの質問を事前にもらって、当日お答えするなど、1階と2階図書室を見学することで、身近な公共施設をじっくり学習してもらえる様に力を注いだ。 ▼福祉施策への取組み＝7年目になる有償ボランティアMさんには清掃作業や屋上除雪などをしてもらって、とても助かっている。「春のフェスタ」「健康フェスタ」では、福祉作業所の皆さんに参加してもらい、イベントを盛り上げてもらった。 ▼他団体との協力＝二つの連合町内会、地域の小中学校、福祉のまち推進センター、八軒地区の医療法人、介護予防センター八軒、西区第1包括支援センター、西区第1エリア生活支援推進員（第2層生活支援コーディネーター）など協力体制が確立している。R5年度から始まった「はちけん・ティッシュ協力隊!!」は、R6年度中に3回協力品をNPO法人イナंकフルに届け、感謝された。それぞれの目的で地区センターを訪れる人たちの善意がひとつの形になった事業だ。	▼更新期間5年間の3年目になるR7年度は、あらゆる意味で安定した運営を求められる。7/1からの貸室使用料改定が、利用料収入にどのような影響を及ぼすかは未知数だが、培った経験値をベースに各事業を進めていきたい。そのためにも、これまで同様スタッフ間の積極的な話し合いと地域住民や利用者との日常的な会話を大切にして、はちけん地区センターを「地域活性化の拠点」にしていきたい。一方、心配していた施設や備品の不具合が7年度のスタートと共に頻発しており、大規模改修工事の予定が無い中で、西区への相談を密にする心構えだ。 ▼R7年度の利用料収入については、7月1日からの使用料改定に伴って増えることが予想されるが、どの程度の増収になるかは未知数だ。利用者からの質問や問い合わせには正確で分かりやすい対応がとれるように、職員のスキルアップを心がけ、利用率が上がるようにしたい。 ▼講座・交流事業共に、定番・新規にかかわらず、地域や利用者から求められる事にアンテナを張りながら企画していきたい。R7年度の10月には、C室を練習場所に使っているミュージシャンとのご縁から地区センター主催で地域住民に向けたコンサートを予定している。 ▼R7年度も、これまで通りにそれぞれの事業を行っていききたい。R6年度は2年ぶりに北大生の社会教育実習を受け入れたが、R7年度も同様の依頼が来ており、2年続けて受け入れの予定だ。小中学生同様に北大生の実習も「地区センター丸ごと」の施設活用事業ととらえて協力したい。 ▼有償ボランティアのMさんや、福祉作業所によるイベントでの物販など、これまで行ってきた福祉施策への取り組みを、R7年度も継続する。 ▼R7年度も協力体制を活用して、これまでと同様の活動を行っていく。窓口に訪ねてくる高齢者の問い合わせや困りごとについては、どの団体につなぐのが最善かを適切に判断するのも大事だ。私たちが解決できなくても、つなげる協力団体がある事の強みを活かした活動をしていきたい。「はちけんティッシュ協力隊!!」は今では来館者から認知され、R7年度になってから2度協力品を届けている。「長期入院の子どもと付き添い家族を支える」為に、長く続けていきたい事業だ。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
各項目において要求水準を満たしている。また成果指標の達成率が高く、収支状況も安定している。地域住民と協力しながら施設運営を行うことで、地域活動の活性化にも寄与している。人気が高い事業の継続や、新たな企画の創出により、引き続き地域住民に親しまれ、利用されるコミュニティ施設を目指して取り組んでいただきたい。	